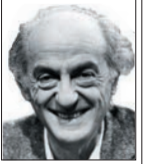


100 years of Alex Randolph 1922-2004



●ランドルフ展は5月4日から●ランドルフさんについてのライブ配信を2月19日午後5時から配信予定

アレックス・ランドルフって誰？

2022年は私たちが敬愛するゲーム作家アレックス・ランドルフさんの生誕100年です。彼は1922年にボヘミア地方で生まれ、2004年に81歳でベニスでなくなるまで、数多くのゲ

ームを作りました。あらためて、彼が生み出した素晴らしいゲーム作品と、偉大な功績に感謝したいと思います。今回は、ランドルフさんがどんな人なのか5つの切り口でご紹介します。

100 個以上のゲームを考案した人

彼は「パンカイ」(1961年、39歳)から「ザウバーレーゼン」(2003年、81歳)まで104のゲームを作り、そのうち約15点が今も販売中です。



「ガイスター」2,800円
1980年生まれの2人用ゲーム



「ザーガランド」4,180円
1982年の「年間ゲーム大賞」

17 の作品で賞を勝ち得た人



彼の作品は、ボードゲームで最も権威あるドイツの「年間ゲーム大賞」の大賞もしくはその候補、または推薦リストに選ばれました。

30 の子どもゲームを作った人

大人向けの全作品のうち約30点が子ども向けでした。特にすごろくは、これでもかというほど、様々なアイデアや工夫が凝らされました。



「すすめコブタクん」5,280円
2001年「年間子どもゲーム大賞」ノミネート作品

1970 年、箱に名前を入れさせた人

彼はそれまで曖昧で名前のなかった「ゲームを考える」という仕事に、「ゲーム考案者」という名前を与え、パッケージに名前を入れさせました。



初めて自分の名前が入ったのは1970年発売の「スポッツ」(エポック社・参考頁)



4 つの言語を自由に操った人

7歳で、イタリア語、英語、ドイツ語を流暢に話し、10歳から、スイスの寄宿学校でフランス語を習得。少なくとも5つの国(チェコ、イタリア、米国、オーストリア、日本)に住んだコスモポリタンです。



スイスの寄宿学校にて



「ハゲタカのえじき」1,500円
1988年作のカードゲーム



「テンポかたつむり」2,860円
1985年生まれの色で進むすごろく



アレックス・ランドルフ生誕100周年記念サイト
作品リストや人気ゲームの紹介、海外デザイナー・国内ゲーム関係者のコメントなど盛りだくさん。(制作:アレックス・ランドルフ生誕100周年実行委員会)

佐々木 隆行(ささき たかゆき)
百町森スタッフ。自称アレックス・ランドルフ研究家。2008年以降、ランドルフさんの功績を忘れないようにと、誕生日と命日にあたるGW期間中に「ランドルフ展」「ガイスター大会」を開催している。



ライブ7 News

